

きになる本をてらします

ブックらいと



あの頃へタイムスリップ！



1

『来たよ! なつかしい一冊』

池澤夏樹／編

毎日新聞出版

2024 019.9

人それぞれなつかしいものはいろいろでしょう。年代によっても、もちろん違うものですね。

今回は、忙しい毎日を過ごしている皆さんへ、過去を振り返り、なつかしいと感じる本にらいとをてらしました。

毎日新聞の連載を書籍化した本書は、作家 50 人が自分にとって「なつかしい一冊」への思いを熱く語るブックガイドとなっています。他人の懐かしいものを垣間見ること、新しい出会いが生まれるかもしれません。昔を思い出すことは、誰にとっても意味のあることだと気づかされます。

皆さんの「なつかしい一冊」はなんですか？

2



『懐かしの空き缶大図鑑』

石川浩司／著

東海教育研究所 2019 588.4

昭和から平成にかけて収集した 3 万缶の中から、郷土の味や面白いネーミングのもの等が紹介され、珍しいお宝缶に出会えます。

3



『純喫茶とあまいもの』

難波里奈／著

誠文堂新光社 2023 291.3

パフェにホットケーキ、メロンソーダ。喫茶店の甘いものはいつの時代も人々の心を温めてくれます。一度は訪れたい名店の数々。懐かしいエピソードとともにご賞味あれ！！

4



『日本ガチャガチャクロニクル』

杉村典行／著

辰巳出版 2024 589.77

雑貨屋の店先で重いレバーを回した時代から現代まで、ガチャガチャの 60 年を振り返ります。あの時機の引き出しに入っていた宝物に再会できるかもしれません。



相模大野図書館の本は、『日本十進分類法』に従って並んでいます。『日本十進分類法』とは、本を内容別に整理する為の方法です。まず 0～9 の大まかな区分に分け、その 10 区分をさらに細かく分けることによって、わかりやすく配置することができます。

またその中で、参考資料(R)、郷土資料(K)、文庫(BF)や新書(S)、旅行ガイド(T)、児童書(J)などは分類記号の前に別置記号を付し、探しやすくしています。他にも、小説(F)、雑誌(Z)、絵本(E)、洋画DVD(DW)、などの表記もあります。